

平成30年

# 新春のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

町民のみなさまには、希望に満ちた新しい年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、北朝鮮による核実験や各種弾道ミサイルの発射など、東アジアの安全保障において憂慮される事態が続きました。また、ミサイル発射に伴い、町内においてもJアラートによる警報が初めて発令されるなど、町民のみなさまの安全安心が脅かされる一年でありました。一方で、

国見町応援大使である市川由紀乃さんが2年連続でNHK紅白歌合戦に出場したほか、将棋の藤井聡太四段がデビューから29連勝を飾るなど、若者の活躍による明るい話題もありました。また、天皇陛下のご退位が決定したことや東京オリンピックに向けた準備が加速するなど、新しい時代に向けての動きが始まった1年でもありました。国見町においては、私が町長に就任いたしました。2期目の1年が経過したところであります。

これまで、「復興・絆・交流連携、国見の未来をみんなで作くりましょう」を念頭に国見町の復興を加速し、安全・安心で明るい魅力ある町をつくりあげるために、「東日本大震災からの復興・再生」「安全安心な町政」「活力ある町政」「思いやりのある町政」「国見町の継続的な維持発展」を「国見の未来をつくる5つの目標」とし、農商工の振興対策、町内外への情報発信や交流人口の拡大の強化など、人口減少や少子高齢化社会を見据

えた様々な課題にチャレンジしてまいりました。

この間、町民のみなさまのご協力により、懸案事項であった県北浄化センターからの汚泥の搬出や住宅除染が完了したところであり、現在は国に対して、仮置き場から中間貯蔵施設への運び出しを強く要請しているところであります。

また、風評払拭とともに町の農産物のおいしさをPRするため、北海道・東京・中部地方などにおいてトップセールスを精力的に展開したほか、交流人口の増加へつなげるために、「くのみ応援団ツアー」や「東京くのみ会」などの事業も精力的に進めてまいりました。あわせて、「義経まつり」「復興・絆イルミネーション」「あつかし山ビックツリー」などの元気活力事業にも積極的に取り組んでまいりました。

さらに昨年5月には、町民のみなさまの悲願

であった「道の駅国見あつかしの郷」が開業し、5か月間で来場者が100万人を超え、国見町の復興のシンボルとして、町内はもとより県内外から多くの来場者を迎え、交流連携の拠点となりつつあります。

これまでも国見町は、北海道二セコ町や岐阜県池田町、栃木県茂木町と災害時応援協定を締結するとともに、互いの物産交流を通じた連携を強化してまいりました。今年にはさらに、町としての基盤づくりをしつかり創り上げるために、『復興・絆』事業を継続しながら、『交流連携』を軸とした人口減少対策や町の活性化対策にシフトする年にしていきたいと考えております。

特に、国見町が自治体として将来に向かって維持発展するためにも、地方創生をはじめ、復興・創生期間に取り組みなければならぬ「まちづく

り事業」や「交流人口拡大に直結する事業」を果敢に進めてまいります。

今後とも、これらの事業を推進するため、町民のみなさま、関係団体のみなさまのさらなるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年がみなさまにとってすばらしい、輝かしい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平成30年1月

国見町長

太田 久雄



写真：阿津賀志山の山頂から信達平野を望む